

てっこうきでん

TEKKOKIDEN

(一社)石川県鉄工機電協会
TEL (076)268-0121
URL <http://www.tekkokiden.or.jp>
題字／会長 澁谷 弘利

平成28年度
業界振興懇談会開催

9月6日(火)ANAクラウンプラザホテル金沢において、谷本知事及び県商工労働部幹部の方々をお招きし、澁谷会長をはじめ協会の役員並びに各地域・業種の代表53名が一堂に会し、業界の振興について懇談しました。

澁谷会長、谷本知事の挨拶の後、代表2名の方々より業界が直面する課題を知事に説明・要望し、それぞれに詳細な見解をいただきました。

なお、懇談会に先立ち、日本銀行金沢支店長 小澤浩太郎 氏より「最近の金融経済情勢について」と題してご講演いただきました。(要旨はP3に掲載)



〈瀧谷会長あいさつ要旨〉

日本経済は新興国経済の減速やイギリスの EU 離脱問題などの影響からデフレ脱却は未だ道半ばであり、政府は事業規模 28 兆 1000 億円の「未来への投資を実現する経済対策」を閣議決定されました。今こそ今年度の第 2 次補正予算と来年度予算により、あらゆる政策を総動員してデフレ脱却と「経済の好循環」の実現にまい進していただきたい。

昨年「北陸新幹線」の金沢開業で、予想を上回る人々が来県されるなか、首都圏などとのビジネス交流も活発化しており、私ども業界としても新幹線効果の追い風に乗れ、更なる飛躍を目指し、地域の雇用・業界発展に尽力してまいります。



〈谷本知事あいさつ要旨〉

鉄工機電協会は、本県の製造品出荷額の約7割を占める県下最大の業界団体であり、本県経済を常に下支えし、景気回復の原動力となるなど、本県経済の中核を担っていただいております。最近の本県経済は、新幹線開業効果も追い風に、業種で景況感にバラつきがあるものの、景気全体としては着実に回復を続けており、県では、こうした景気回復の動きを持続的な成長に繋げることが重要と考え、地域の強みを活かした産業づくりに全力を挙げて取り組んでいます。また、皆様方が金沢港を熱心にご活用いただいたことで、ここにきて県内企業の金沢港利用割合が名古屋・阪神を抜いてトップになりました。引き続き、皆様方を取り巻くビジネス環境の整備に取り組み、県内企業の成長を積極的に支援してまいりたいと考えております。



【CONTENTS】

平成28年度業界振興懇談会開催	青年部会だより	6
会長、知事あいさつ要旨	研修スケジュール・協会スケジュール	6
要望内容等	DI調査（H28.7-9）結果	7
講演要旨	会員情報	8
協会トピックス		3～5

[illegible]

国の「経済対策」に対応した県の補正予算の早期編成と 平成29年度当初予算での中小企業対策の充実・強化について



総務委員会副委員長 明石 巖 氏（株明石合銅代表取締役会長）

現在の経済環境の中、次の3点についてお願いしたい。

（一点目）国の補正予算の石川県での早期実施のため、県の補正予算の成立・実施。

（二点目）来年度の中小企業振興施策の中で海外販路開拓に関する施策の充実・強化。成長著しい東南アジア等での販路拡大は、会員企業の重要な企業戦略であり、継続的な海外展示会出展も大切だが、現地製造拠点を構えている県内企業と県シンガポール事務所・北國銀行のネットワークを活かした活動ができないか。

（三点目）設備投資拡大のための貸与・制度融資の改正。会員企業の設備投資を支える制度として「延払による機械貸与制度」があり、本制度は国のものづくり補助金等の予算化、日銀のマイナス金利の導入等で近年の利用が低下しており、現行の制度条件では魅力がなくなっているのが現状で、会員企業の設備投資を支える制度として、今後とも本来の機能が発揮できるよう制度の改正をお願いしたい。

知事（答弁要旨）……

（一点目）今回の県議会では9月補正予算として約80億円。そのうち、約77億円を当初予算の積み残し分として、県民生活の安全・安心を確保する公共事業を追加計上したところである。また、当地には、7年後の北陸新幹線敦賀開業に向けた公共事業による追い風があるほか、国の第2次補正予算においても、国会審議前ではあるが、県としては情報収集を進めて、詳細がわかり次第迅速に対応していきたいと考えている。

（二点目）今年7月、北國銀行シンガポール支店が開設したことで、今後は県シンガポール事務所とスクラムを組み、県内企業の輸出促進や現地進出、展示会出展、ファイナンスに関することまで、企業の海外展開を強力にサポートしていきたいと考えている。

（三点目）国では平成24年度から「ものづくり補助金」を創設し、中小企業の設備投資を後押ししている。多くの県内企業が同制度を活用していると認識しているが、今後、「ものづくり補助金」がいつまで継続するのかを見極めつつ、貴協会の「延払機械設備貸与制度」が今の経済環境にマッチしていない部分があるとすれば、県内企業が利用し易い制度となるよう、適宜必要な見直しを行っていきたいと考えている。

「モノづくり産業を支える人材確保の新たなプロジェクト」の実施について



人材育成委員会委員長 岩本 博之 氏（岩本工業代表取締役会長）

本県産業を支え、企業が成長する原動力は人材にある。有効求人倍率は1.65倍（全国6位）と上昇の一途で、製造業全般においても有効求人倍率は1.27倍と完全に売り手市場であり、中小企業が多い会員企業は人材確保で厳しい状況が続いている。

また、協会では中長期的な取り組みとして小学生・工業系高校生にモノづくり体験や工場見学等を実施しているが、今年度新たに中学生・保護者・教員を対象に企業見学会、中学OBによる講演会や教育委員会と連携して県内3地区で普通高校を含めた教員の企業見学を予定しているが、モノづくり企業の人材確保のため石川県独自の取り組みとして、小・中学校・高校を通じた保護者や先生方向けのプロジェクトの実施の検討をお願いしたい。

知事（答弁要旨）……

今年7月の本県有効求人倍率は1.65となっており、県内企業からは人手不足との声が聞かれる。県では、企業の人材確保を後押しするため、若者の県外流出にどう歯止めをかけるのが最大のポイントだと考えている。

県内高校を卒業して大学に進学する学生の割合は約6割、うち県外の大学に進学する割合が約6割である。県外進学者のうち、首都圏に限ると石川県にUターンする学生は約4割で、残り6割が首都圏で就職している。県としては、この学生達に対して、Uターンしてもらえよう働きかけていくことが重要と考え、本県との繋がりが切れていないとの認識を持ってもらうため、インターンシップでの企業体験等を通じて、Uターンしてもらう取り組みを進めている。

また、県内進学のうち約2割5分の学生が県外企業に就職しているとの実態もあり、この学生達に対しても県内に就職するよう働きかけるなど、こうした努力を一つ一つ積み重ねることが、県内企業の人材確保につながるものと確信している。

さらに、小・中・高校生に対しても、本県のものづくりの素晴らしさを、肌で目で体験してもらえよう様々な取り組みを行うなど、地道な活動こそ成果を上げるためには必要と考えている。今後も、貴協会をはじめ関係機関と連携して、企業の人材確保、学生の県内就職にしっかりと取り組んでいきたいと考えており、皆様にもご協力をお願いしたい。

英国の EU 離脱問題、イタリアの銀行の不良債権問題、新興国経済の減速等で国際金融市場が不安定化するなか、日銀が実施するマイナス金利付き量的・質的金融緩和は、政府の 28 兆円財政政策と相まって強力な効果を発揮していると考えている。日本経済は、リーマンショックで落ち込んだあと、2014 年の若干の後退を経て緩やかではあるが回復が続いている。輸出と鉱工業生産の面で弱い動きはあるが、一方で、金融緩和による実質金利低下で民間需要が刺激されるなか、非製造業を中心に史上最高水準の企業収益が達成されている。



北陸の経済は、北陸新幹線開業に伴う交流人口の増加等に牽引され、比較的しっかりしている。モノづくり企業も技術に磨きをかけながら収益性を高め、高操業を継続して地域経済を牽引している。今後は、海外経済に依然として不安要素はあるものの、北陸新幹線の敦賀延伸に伴う公共投資の本格化、ホテルやマンション等の建設投資や M & A 資金の流入、東京オリンピックに向けインバウンドのさらなる増加などによって、今後とも基本的には回復基調をたどると判断している。そうしたなかで、皆様が北陸の景気の良さを生かしてしっかりと業績を上げていかれることを祈念している。

協会トピックス

国際講演会

開催日：平成 28 年 7 月 14 日(木)

会 場：金沢東急ホテル

テーマ：メキシコ自動車産業の最新動向と TPP の影響

講 師：中畑 貴雄 氏

（ジェトロ本部海外調査部米州課課長代理）

参加者：46 名

世界最大の経済大国アメリカに隣接し、自動車産業の集積が進み、加えて充実した TPP や低賃金が魅力であるメキシコの最新動向について、ジェトロ本部海外調査部の中畑貴雄 氏に講演いただきました。

メキシコの自動車産業は輸出だけでなく、国内の新車販売市場も伸びている。現在、すそ野の部品供給メーカーが不足気味で、生産規模の急激な拡大がすそ野産業への投資を呼び込んでおり早めに進出することでチャンスをつかみやすいとのことでした。



海外現地人材育成事業説明会

開催日：平成 28 年 8 月 17 日(水)

会 場：石川県鉄工会館

講 師：西古 雅彦 氏

（一般財団法人海外産業人材育成協会研修業務部）

参加者：24 名

海外拠点において「現地の技術者・管理者を育成し、経営の現地化を進めたい」「現地の工場や協力企業の生産性を向上させたい」「日本の管理技術や低コスト・省エネのノウハウを現地に定着させたい」等の課題がある企業向けに、経済産業省による国庫補助事業（滞在費・実地研修費等、海外人材の育成に関する費用を中小企業なら 2/3 補助）の説明会を開催しました。参加者から具体的な質問があり、利用したいとの声が聞かれました。



産業人材の総合的育成・確保のため、また、モノづくりに興味をもってもらえるよう小学生・中学生・高校生を対象に工場見学会等を開催

●小学生のモノづくりサマースクール

小学生を対象にした工場見学とモノづくり体験教室を開催しました。工場見学は、(株)石野製作所では回転寿司コンベア機を、(株)富士通 IT システムではサーバやストレージシステムを、(株)ソディックでは 3D プリンタと射出成型機を、鹿島興亜電工(株)では抵抗器の製造工程を見学しました。また、体験教室としてタイルモザイクアート・革工作・木工作・フラワーアレンジメント・LED ライト等を製作し、4 地区延べ 110 名の子供たちがモノづくりの楽しさを学びました。



月 日	地区／人数	見学先	体験教室
8月2日(火)	加賀／26名	(株)石野製作所	ポリテクセンター石川
3日(水)	金沢／27名	(株)富士通ITプロダクツ	ポリテクセンター石川
4日(木)	小松／27名	(株)ソディック	小松産業技術専門校
5日(金)	七尾／30名	鹿島興亜電工(株)	石川職業能力開発短期大学校

●中学生のモノづくり企業見学会

小学校から高校まで継続的にモノづくり産業に触れ、将来的な人材確保につなげることを目的に、これまで行われていた小学生、高校生に加え、中学生・保護者・教員を対象とした「モノづくり企業見学会」を開催しました。

中学生向けの工場見学は初めての開催で、8月23日(火)、白山・野々市地区 32 名の中学生、保護者、教員が(株)トランテックスを見学しました。



企業概要やトラックの役割などの説明を受けた後、実際にトラックボデーの製造工程を見学し、生徒からは「それぞれオーダーメイドで製造していることに驚いた」「塗装が液体ではなく粉体塗装であることなどに興味を持った」などの感想が聞かれました。

●高校生のモノづくり企業見学会

平成8年度から継続して行われている工業系高校生の工場見学会が、石川県立工業高校、石川県立小松工業高校の2校で開催されました。今年度は計6校で開催される予定です。

工業系高校関連の事業としては、今後「若手経営者や工業高校出身の若手従業員による講演会」や「モノづくり企業&工業系高校教員との懇談会」「優良卒業生等の表彰」などの開催を予定しています。



実施時期	学校名	見学先
6月 9日(木)	県立工業高校	県鉄工団地(協)、津田駒工業(株)、中村留精密工業(株)
7月 12日(火)	小松工業高校	旭丘団地(協)、(株)トランテックス
9月 27日(火)	大聖寺実業高校	コマツ栗津工場、(株)東振精機、ジェイ・バス(株)
10月 26日(水)	市立工業高校	旭丘団地(協)、県鉄工団地(協)
11月	七尾東雲高校	未定
H 29年 2月	羽咋工業高校	未定

環境委員会視察会（東京都小笠原村）

開催日：平成28年7月20日(水)～25日(月)

視察先：小笠原村役場、小笠原村扇浦浄水場、父島クリーンセンター

参加者：8名

平成23年に世界自然遺産に登録された小笠原諸島。自然環境の保全と離島（東京から約1000km）ゆえの生活インフラ（水道事業、産業廃棄物処理事業等）及び生物多様性の現状を視察しました。

特に、行政が第一線において世界自然遺産を維持保全するべく、小笠原固有種（植物で36%、昆虫類で28%）を外来種の侵入から防ぐため最大限の努力をされていることやゴミ焼却ゼロを目指しての分別回収の徹底など、**環境と住民との共生**に最大限の配慮がなされていることや水道などの生活インフラを維持・管理する人材面でも課題を抱えており、厳しい現実を実感しました。



新分野進出委員会視察会（富山県）

開催日：平成28年8月19日(金)

視察先：(株)不二越ロボットFA展示場

参加者：40人

今回見学したロボットFA展示場は、昨年10月、富山本社工場内1,000平方メートルのスペースに約10億円で購入されたロボットFA（工場の自動化）展示場であり、「自動車関連」「食品・医薬品」などのゾーン別に産業用ロボットが約100台と工場の自動化ラインの具体的なラインが展示されていました。

参加者にとって、**今後のロボットを活用した現場改善**の参考となる有意義な視察となりました。



MOT先進工場見学会（静岡県）

開催日：平成28年9月13日(火)～14日(水)

視察先：ローランドディ・ジー・(株)・ヤマハ発動機(株)

参加者：26名

今回訪問したローランドディ・ジー・(株)は業務用インクジェットプリンターでは世界シェア40%を占め、この分野でのNo.1企業であり、売上の海外比率89.4%と世界200以上の国と地域にユーザーを有しているグローバル企業でした。

特徴としては独自のセル生産方式「デジタル屋台」(D-Shop)を開発し、女性中心の一人一台生産方式で女性が活躍している職場でした。

ヤマハ発動機(株)では、IM事業部（産業用ロボット、チップマウンター実装機製造）を視察しました。ここは、完全受注生産体制を行っており、内製率は100%、約35,000点の部品をストックしており、部品加工も全て自社内で対応しており、完成在庫ゼロの企業でしたが、受注生産のため売り上げにバラツキがあり労働力の調整（従業員500名、うち正社員200名）に苦心が見られました。



青年部会だより

「企業間連携による一貫生産体制の構築」事業で、7月7日(木)にファナック(株)専務取締役 稲葉清典 氏を講師に「IoT FIELDsystem」について、9月16日(金)には三菱電機(株)ロボットテクニカルセンターから熊谷好高 氏にお越しいただき、「知能化ロボット」についての勉強会を開催しました。



また、9月28日(水)には2回目となる伊藤忠マシンテクノス(株)の正井 浩 氏にお越しいただき、今回は実際にメンバー企業を見学後、食品機械業界への参入について具体的な討論をいたしました。

なお、8月26日(金)には、4府県(石川、富山、福井、京都の青年部団体)合同研修会を開催し64名が参加、京都の(株)辻製作所、(株)三谷合金製作所、HILLTOP (株)を見学し、県の垣根を越えて大変有意義な情報交換を行いました。

平成28年度 研修スケジュール(予定)のご案内

きでんスクール		技能継承スクール 共催：ポリテクセンター	
10月	14日(金) わかりやすい原価管理と改善 受講料：3,000円	10月	12日(水)～14日(金) 精密測定技術② 受講料：6,000円
11月	18日(金) コミュニケーションスキルUP講座 受講料：3,000円	11月	15日(火)～17日(木) 機械加工部品の測定・検査技術 受講料：6,000円
12月	2日(金) 製造現場で進めるコスト改善 受講料：3,000円	11月	16日(水)～17日(木) TIG溶接実践技術 (ステンレス鋼板材編)② 受講料：9,000円
	16日(金) ムダの発掘と改善 受講料：3,000円	1月	18日(水)～19日(木) 半自動アーク溶接実践技術② 受講料：8,000円
1月	20日(金) 部下指導に活かすコーチング 受講料：3,000円		
2月	17日(金) 効果的なOJTの進め方 受講料：3,000円		
3月	17日(金) ネクストリーダー研修 受講料：3,000円		

ホームページでもご覧いただけます。
URL：<http://www.tekkokiden.or.jp>

平成28年度 協会スケジュール

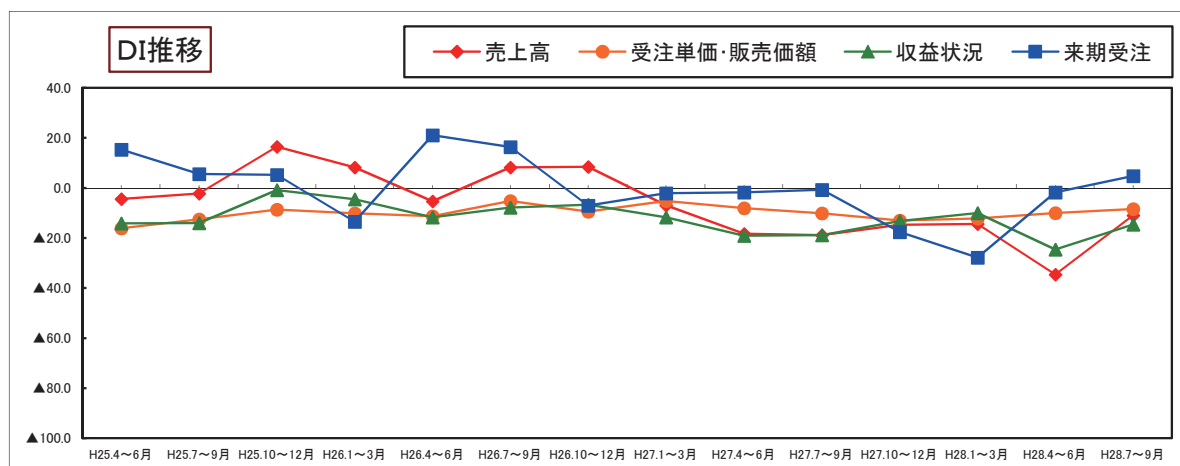
開催日	内 容
会 議	
10月28日(金)	人材育成委員会
10月31日(月)	総務・事業企画合同委員会
12月2日(金)	広報・情報委員会
H29年 1月26日(木)	正副会長会議、理事会
行 事	
10月6日(水)～8日(金)	METALEX VIETNAM 2016出展 (ベトナム・ホーチミン)
10月19日(水)～20日(木)	先進地域企業視察 (奈良県)
10月21日(金)	第V期第2回医療健康機器研究会
11月1日(火)～5日(土)	2016中国国際工業博覧会出展 (中国・上海)
11月22日(火)	第52回功労者・永年勤続者表彰式
11月23日(水)～26日(土)	METALEX 2016出展 (タイ・バンコク)
11月24日(木)～30日(水)	海外経済視察 (タイ・バンコク、ベトナム・ダナン)
11月25日(金)～26日(土)	メディカルクリエーションふくしま2016出展 (福島県)
H29年 1月19日(木)	石川県知事及び金沢市長へ平成29年度予算要望
H29年 1月26日(木)	平成29年新年会員懇親会

DI調査結果（平成28年7－9月期）

概況総括：『全体的に底は脱したもの、依然仕事量としては十分ではなく、先行きについては慎重』

【調査概要】

1. 今期（平成28年7-9月期）の業況調査DI12項目では、プラスDIは「原材料単価」2.2（前回1.0）、「来期受注」4.8（前回▲1.7）の2項目となった。（前回は「原材料単価」の1項目）
2. 現在の経営状況を示す「売上高」から「生産設備」までの9項目では、
 - (1) 景況感を端的に表す「売上高」▲10.9（前回▲34.6）は、6月に国のものづくり補助金の採択結果が出たことで、前期停滞していた受注が動き出したこともあり、大きく数字を戻した。
 「受注単価販売価額」▲8.5（前回▲10.0）、「収益状況」▲14.7（前回▲24.6）、「原材料単価」2.2（前回1.0）、「取引条件」▲0.7（前回▲2.4）も改善傾向にある。
 一方で、「資金繰り」▲7.7（前回▲4.8）は前期売上高が低迷したこともあり悪化となった。
 - (2) 現場の繁忙さを表す指標では、「操業率」▲5.8（前回▲8.9）、「受注残」▲5.3（前回▲7.5）、「生産設備」▲1.6（前回▲2.2）の3項目いずれも改善傾向にあるが、仕事量としてはまだ十分な量ではなく、依然設備投資については慎重である。
3. 前回から改善傾向にある来期3項目では、「来期受注」4.8（前回▲1.7）は8期ぶりにプラスとなり、「来期採算」▲5.2（前回▲12.1）、「来期資金繰り」▲5.1（前回▲12.1）も引き続き改善しており、底は脱した感がある。
4. 「企業経営上の悩み」については、上昇傾向にあった「受注不安定」44.9（前回51.9）が減少し、「人材不足」26.2（前回24.7）は依然として高い。
 また、前期仕事量が全体的に少なかった状況もあり、「競争激化」10.1（前回5.6）も上昇している。
5. 前期は、中国をはじめとした新興国経済の低迷や、ものづくり補助金の採択待ちによる受注の低迷もあって、全般的に後退していたが、今期は補助金の採択結果などにより、停滞していた受注が動き出し、多くの項目が改善した。
 しかしながら、続く中国等の新興国経済の低迷や円高の影響により、県内製造業全体を見渡すと、仕事の総量としてはまだまだ十分な量ではなく、景況は改善傾向にはあるが、依然慎重な見方をしている企業が多く、国・県による平成28年度補正予算等での経済対策に期待したい。



◆平成28年度金沢市経済活動賞に会員より2名の方が受賞されました

石野 晴紀氏（㈱石野製作所代表取締役社長）

三谷 充氏（三谷産業㈱代表取締役会長）

【金沢市経済活動賞】

金沢市商工業の分野で他の模範となる活動を行い、地域経済の振興および発展に貢献されている中堅経済人（若手企業経営者）と永年にわたり地道に活動している方々を顕彰するため平成13年に創設されました。

◆平成28年度プレミアム石川ブランド等製品認定会員企業一覧

独自性や新規性に優れ、将来の成長が期待できる県内中小企業が開発・改良した優良製品の販路開拓を支援する石川県の「石川ブランド製品」に次の会員企業が選ばれました。

	企業名	開発した新製品等の名称
プレミアム	明和工業㈱	肥炭粉（ぴったんこ）
	㈱石野製作所	ADWS 寿司皿自動洗浄ライン
	㈱松浦電弘社	KURAMA-mini（くらまみに）
	㈱村谷機械製作所	マルチビーム式高出力半導体レーザ装置

*当協会デザイン技術研修会講師の馬場 了氏（㈱クルー代表取締役）が審査員を務めておられます。

◆石川県の支援事業で「県外需要を取り込む元気なものづくり中小企業育成支援事業」に会員企業1社が採択されました

ライオンパワー㈱：医療検査用の血液標本を作る装置

【概要】 規模は小さいながらも優れた製品や技術を有し、県内で材料や部品を調達したうえで、製品を県外に販売することで地域経済の活性化に貢献しているものづくり企業を支援する事業で、昨年度から始まりました。

i 会員情報

平成28年9月15日までに寄せいただいた内容を掲載しています。

◆代表者の変更

社名	新代表者名	社名	新代表者名	社名	新代表者名
アイティエムコーポレーション㈱	村田 智宏	新星機械	赤尾 光	米林機械工業㈱	米林 俊一
㈱久世ペローズ工業所	久世 太郎	トウエイ工業㈱	東 他喜男	長田工業(協)	高田 直人

◆社名の変更

新社名	旧社名
㈱幸松商店	㈱幸松商店
トウエイ工業㈱	㈱東栄工業

◆住所変更

社名	新住所	TEL/FAX
㈱幸松商店	金沢市大友 1-350	076-208-3812/076-208-3813
トウエイ工業㈱	白山市出合島町 541	076-277-1625/076-277-1606

i ホームページのご紹介



●協会ホームページ
<http://www.tekkokiden.or.jp>



●MEX金沢
<http://www.tekkokiden.or.jp/mex>



●金沢港ビジネス情報サイト
<http://www.knz-port.jp/>